

Information_7

人獣共通感染症のおはなし

人と動物の間では、共通の感染症があり「人獣共通感染症」や 「人畜共通感染症」、「ズーノーシス」などと呼ばれています。 正しい知識をもって、これらの感染症を防ぎましょう!

動物から人へ感染する病気

日本国内で問題となる人獣共通感染症の数は、20~30種類といわれて います。

く代表的な感染症>

犴犬病

…すべての哺乳類に感染。発症後はほぼ100%死亡。

うりざねじょうちゅうしょう
瓜実条虫症

…ノミが媒介。幼児で下痢や腹痛を起こす。

猫ひっかき病

…ノミが媒介。バルトネラ菌に感染した猫に噛まれたり、 引っかかれることで感染。発熱やリンパの腫れが起こる。

皮膚糸状菌症

…カビの一種。頭部の脱毛やフケ、体部ではかゆみを伴う 紅斑、水疱、膿疱ができる

レプトスピラ症

…保菌動物(主にネズミ)の尿から感染する。 発熱や頭痛、悪寒など風邪の様な軽い症状から、黄疸、 出血、腎障害を伴う重症型まである

感染を予防するために

人獣共通感染症を予防するために、正しい知識をもって動物たちと接する よう心掛けましょう。 つづく 🥕





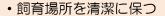
①正しい知識をもつ

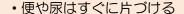
共通感染症について、感染源や感染ルートを知ることで、感染を 予防・回避することができます。

②衛生習慣を身につける

- ・動物を触った後や、世話をした後は手を洗う
- ・過剰な接触を避ける(口移しの給餌、食器の共用など)
- ・ 乳幼児が動物と触れ合う時は、大人が手洗い等を教える

③衛生的な日常管理







適切な食事





良い習慣

④動物の健康管理

• 適切な量の衛生的な食事と水を与える

- ・ 常に健康状態に注意する
- ・ 感染症や寄生虫の予防をする



病気やケガに気付いたら、早めに治療を受けさせる

スタッフより ロディロ ロチャロペッツ ロチロディン ロチャロペッジ ロナ

人獣共通感染症には、動物は病原体を持っていても、症状が何も現れな い病気もあります。必要以上に怖がることはありませんが、やはり過剰す ぎる接触は気をつけたいですね。万が一、噛まれたり、引っ掻かれた後に 発熱や傷口の腫れ、化膿など症状が出た場合は早めに受診し、 医師に動物を飼っている旨を伝えましょう。